

ひとりひとりひかる

きぼう

2006 11/27
増刊号

発行：かしの木の会／かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147:kasisato@f7.dion.ne.jp
・ 櫻の木園:kasien@k3.dion.ne.jp ・ 櫻の木作業所:kasisyo@k2.dion.ne.jp
かしの木 ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/>



↑尾西第一中学校 brassバンドの皆さん！
日頃の練習の成果が発揮できましたね。



←CoCo 吉番屋の皆さん。
いつも大変お世話になってます。本当にありがとうございます。美味しかったです。

第7回かしの木フェスティバルは、好天の下、過去一番の参加人数となり、大盛況のうちに終えることができました。このような企画が運営されるには、たくさんの方のご支援、ご協力が欠かせません。日頃からお世話になっている方々、また特別にこのフェスティバルにご協力してくださいました方々に深く感謝致します。そして長期間にわたり準備から片付けまでお手伝いしてくださいましたスタッフはじめ関係者の方々、ご苦労様でした。

【増刊号 きぼうの目次】

表紙 写真 目次 P. 1
かしの木フェスティバルを終えて P. 2
出演団体の方の感想 P. 3~4
ボランティアさんアンケート P. 6
櫻の木福祉会職員の感想 P. 7~8
協賛を頂いた方々ご紹介 P. 8

やさしさ
地域に広がれ

第7回かしの木フェスティバルを終えて

昨年とは違い、本年度は天候にも恵まれ、約2500名もの地域の方々に足を運んでいただきました。すばらしいステージを観せていただいたWin Bell Majorettesさんや、華龍さん、一宮市立尾西第一中学校のブラスバンド部の皆さん。ストロベリー フライ ロケッツさん、アキバ系ジャグラーブラザー玉見さん、仮面ライダー隊の皆さんには、普段はなかなか見ることができないステージを真近でやっていただき、近隣施設のバザーやフリーマーケットでも多くの方に出演していただきました。また、ステージ進行、模擬店運営、駐車整理、会場設営など会員さん及びボランティアさんのご協力により、スムーズに行なえましたが、これも深く感謝しております。

かしの木フェスティバルもこれまで多くの方々にご協力、ご来場していただき、今回で7回目を数えることとなりました。今回は、互いのちょっとした思いやり、協力し合う関係(和)が人と人とのつながり(輪)へ、さらに私たちの地域社会(環)へと広がっていくことを願って、「つなごう てとて ひろげよう みんなのわ」をテーマに行ってきました。このフェスティバルが、バザーを楽しむだけの意味合いではなく、地域の方々を含め、支援して下さる方々とのつながりも大切にし、障害や年齢などに関わらず地域の人たちが互いに積極的に交流し、一人でも多くの人たちとともに理解を深め、「障害者」も地域の中で安心していっしょに暮らしていけるよう、そしてくらしの場が広がっていくようなきっかけになることを願っています。

今回のフェスティバルでも楽しみや出逢い、思いがたくさんありました。反省点もたくさんありました。様々な人の「わ」が、今後少しずつでも、この街で安心してともに暮らし、ともに歩いていけるような支えとなるよう、次につなげていきたいと考えております。

最後になりましたが、今回のフェスティバルの企画運営にあたって、不備等があったかと思いますが、様々な形で多くの方々に支えていただきましたことを深く感謝申し上げます。

第7回かしの木フェスティバル実行委員長
胡桃沢清佳



↑大道芸人 ブラザー玉見さん
とても素人とは思えない芸と
味のあるトークが良かったです。



↑来年は もっともっと広がれ “みんなのわ” !!!

ステージ出演団体の方より第7回かしの木フェスティバルに参加しての感想を頂きました。

華龍(よさこい鳴子踊り)

11月とは思えないくらいの素晴らしい晴天のもと、かしの木フェスティバルに参加させて頂きまして、誠にありがとうございました。

去年は雨で踊る事ができなかった分、今回、躍らせて頂けた事が、一段と嬉しく感じております。

「みなさん、一緒に踊ってくれるかな」、それだけが心配でしたが、スタッフの皆さんのおかげで、会場の皆様にも参加をさせていただく事ができました。

一般の方だと、“踊りたいな”と思っても、恥かしいなという気持ちが先に立ち、輪に入ることができない方も見えます。でも、そんなことを考えず、楽しそうに一緒に踊ってくれた、かしの木の皆さん。私たちはとても嬉しかったです。

逆に、正直に言えば、私達のほうが、大人も子供も、戸惑いがありました。子供たちにとっては、今まで、あまりふれあったことのない人達です。

実際、男の子達は仲間同士で踊っていました。でも、女の子の中には、皆さんと一緒に手をとり、踊っていた子もいました。

「今日は楽しかった？」と子供達に聞いた所、全員が「楽しかった、来年も踊りたい」と言いました。

かしの木フェスティバル自体が楽しかったという意味もあると思いますが、子供達の心の中に「かしの木」は楽しい所だというイメージができたことを私達はよかったなと、思っています。



柔軟性のある子供達、皆さんとご一緒させていただく機会が増えれば、少しずつ誰とでも手をとり合っただけ踊ることができるようになるかと信じています。気長にみて頂けると嬉しいです。

私達大人は「初めてにしては、上出来かな。」と、自己満足かもしれませんが、みんなが思いました。(ずうずうしくて、すみません!)

スタッフの皆さんも一緒に踊ってくれ、自分から楽しそうに入ってきてくれた人もいて、私達自身も楽しく踊れました。

気になった事としては、次のような意見がありました。

- 皆さんがどのような状態なのかが、よくわからなく、どの人を誘ってよいのかが、わからなかった。この人は手をひっぱってもいいのかな？ぐるぐる回ってもいいのかな？など気になり、声をかけるのにも考えてしまった。
- 砂ぼこりが舞い、車椅子で上を向いている方の口に砂が入ってしまうのではないかと、気になった
- 会場内には、もっと一緒に踊れた方もたくさんいたのではないかと。(会場の後の方にいて踊っている姿が見えなかった、と言われたので)

私達も、まだまだわからない事ばかりです。これから、色々な事を学んでいけたらなど、思っています。

かしの木の皆さん全員に、よさこいの楽しさを感じてもらえると嬉しいです。

華龍

江崎 あずみ



ステージ出演団体の方より第7回かしの木フェスティバルに参加しての感想を頂きました。

ストロベリーフライロケッツ

初めて僕らストロベリーを見た人が殆どだったはずなのに、地元に戻ってきたかのようなそんな暖かい雰囲気の中気持ちよく演奏させて頂きました。純粋でエネルギッシュに音を楽しむ皆の笑顔がとても印象的、もの凄いパワーを持ち寄って作り上げた素晴らしいフェスティバルに参加できた事を本当に嬉しく思います。また必ずあの場所で逢いましょう。どうもありがとう。

Vo. 辻 幸平

まずは素敵なイベントに参加できた事を嬉しく思っています。沢山の人の笑顔が印象に残りました。そしてその場に居た全員が放出したパワーで出来た空、人の力が集まれば上手くいくと青空も作れるんだなと実感しました。ストロベリーフライロケッツの楽曲が伝えなくちゃいけない事を、逆に皆がこちら側に伝えてくれた気がします。ありがとうございました。

Gt. 安井 勇人

今回、音楽という形で参加させてもらいました。気持ちのよい青空の下で演奏出来て、凄く楽しかったです。会場の雰囲気や、当日もらったパンフレット等を見て、このフェスティバルはその場に居た1人1人が作り上げたもの。

だからこそ、笑顔がいっぱい詰まったフェスティバルになったんじゃないかなと思います。また一緒に、楽しい時間を過ごしたいです。

Bs. 金井 康浩

この度はかしの木フェスティバルへのお招きありがとうございました。僕自身、このような福祉施設でのイベントに参加したのは初めての事だったのですが、集まる人の多さに驚きました。僕らもこれからもっと福祉への関心を高めていけたらいいなと思っております。楽しい時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

Dr. 佐藤 健太



ボランティアさんに聞きました アンケート集計結果

今年も準備から後片付けまで、たくさんのボランティアの方々
に手伝っていただきました。本当にありがとうございました。

総勢100名のボランティアさんにご参加いただき、うち67名の方よりご返答いただきました。

当日、ボランティアをしてみようでしたか？（複数回答可）

- ・楽しかった …44名
- ・忙しかった …8名
- ・また来たい …5名
- ・少数意見 …ごみの分別が大変だった。
子ども相手で苦労した。
人とのふれあいが楽しかった。
- ・疲れた …12名
- ・良い経験だった …3名

休憩はきちんととれましたか？

- 取れた …60名
- 取れなかった …5名
- 無回答 …2名

何か改善の必要だと思うことはありましたか？

- ・特になし、無回答 …50名
- ・ジュースの販売が早くに売り切れてしまった。天候に合わせて途中から商品を足してはどうか？…3名
- ・トイレ、手洗い場が遠い …3名
- ・売れるものとそうでないものの販売場所を考えたらどうか？
- ・人数、準備物品(机、パンフレット)が足りなかった…4名
- ・駐車場が足りない又は遠い。駐車場係が7時くらいからいても良かった…4名
- ・時間ももっと長くてよい
- ・抽選券を何度も取りに来る人がいた
- ・段取りが悪く、連絡不足で昼食を買って食べてから弁当をもらった。きちんと連絡してほしい…2名

貴重なご意見を生かし来年も充実したフェスティバルにしよう！！



↑作ってみようプラバンのコーナー



檜の木福祉会職員の方より第7回かしの木フェスティバルに参加しての感想を頂きました。

人を引き付けるもの

40年前のフェスティバル会場に、僕はいた。川上には濃尾大橋、川下には新幹線鉄橋、それ以外は何もない、ただの広い原っぱ。もちろん、グリーンプラザも市民プールもない。「遊びに行ってくる。山へ・・・」子供の頃は、山を知らない。

堤防が「富田山」という山。廃材を運ぶためのトロッコがあり、それが遊び道具。そして、遊び場所がフェスティバル会場。

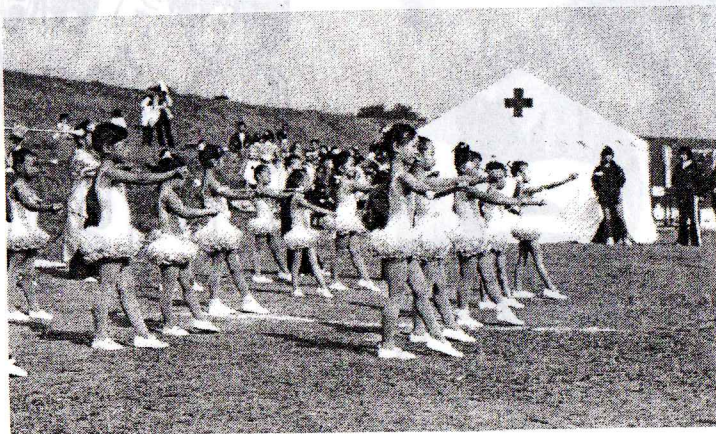
ここに、2500人もの方が集まった。40年前の僕が、こんな光景を想像したのだろうか・・・

人が集まるということは、引き付ける何かがあるということ。では、何を求めて・・・

「バザーをやっている、食べ物や不用品が安いよ。」「孫がプラスバンドで出演する、見にいかなくては。」「仮面ライダーが見たい。」など。

また「ハンディをもった人と交流できるから」「少しでも福祉に貢献できるのなら・・・」といった声も。

どんな理由でもいいのです。そこに会いがあり交流が生まれるから・・・



↑ Win Bell Majorettes の皆さん

檜の木という地域福祉を広げようとする活動が始まってはや、四半世紀。一宮市富田という福祉の理解が得られる場所で、地域の人に支えられながら、施設を増やし、多くの人に利用してもらい、着実に前進してきたと思う。地域に根ざし、理念と言う幹に、実をつけ始めている。その実が、グループホームや居宅介護事業所、相談事業など。もっと、多くの実をこれらもつけていけなければいけない。そこには、地域の理解と多くの人が必要なのである。まさに「マンパワー」なのだ。

フェスティバルに集まった方が、一人でもハンディを持った方と交流ができた。檜の木の施設を知ってもらった。自分に何ができるか、考える機会ができた。それで、大成功。

40年前の自分が遊んだ場所で、娘がバトンを演じた。ウイン・ベル・メジャレッツ。その先生が、子供たちに言う「檜の木フェスティバルに出て、何かひとつ勉強してきなさい。」はたして、娘は何か一つ勉強したのだろうか。

檜の木園 只井



檜の木福祉会職員の方より第7回かしの木フェスティバルに参加しての感想を頂きました。

ステージショー

心地よい朝の光で目が覚め1日が始まりました。外に出ると青い空が広がり秋の風を体全体で感じる事が出来ました。昨年のこの日は空も不安定で薄暗かったのを覚えています。毎年この日を成功させようと関係者は誰もがそう思っているでしょう。

会場では準備を進める人達が続々と集まる中、このフェスティバルをステージから見ていました。慌しそうにしている人、まだかなあと待ち遠しそうにしている人、そして私のように緊張している人。それでも始まる頃には笑顔溢れる大勢の活気に圧倒されてしまいました。

さて毎年ステージでは地域で活躍するグループやサークルなど様々な人達が会場を賑わせ楽しませてくれています。その中でも今回は仮面ライダーショーについて紹介したいと思います。

仮面ライダーショーには城後小児科さんを中心に大勢の方々にご協力をいただき、このフェスティバルだけでなく地域を盛り上げていこうと熱心に取り組んでおられます。今までにもびさいまつりや保育園など幅広く活動されており、檜の木ふれあいバザーにも参加していただきました。さすがに正義のヒーローが何体も現れると子供か

ら大人まで歓喜の声が上がるのは想像出来ますよね。これだけの迫力は何度見ても素晴らしいもので、そのヒーローショーをフェスティバルと一緒に成功させようと決まったのは1年前からの事なのです。

そして今回このショーには檜の木作業所のKさんも夢に見たヒーロー出演と言うことで、直前まで不安と緊張を持ちながらもとても楽しみにされていました。実際ショーの最中は堂々とアクションをこなし、初めてとは思えないほど力強く出演していました。Kさんもショー終了後にはとても満足して興奮覚め止まない様子でした。檜の木フェスティバルを始めたきっかけである『地域の方と一緒にふれあい交流の場を広げていく』という思いが年々広がっていることをいろいろな場面で実感しています。私は毎年ステージから会場を見ていますが、入場者の数はもちろんのこと、ひとりひとりの表情を見てみると、このフェスティバルでの出会いやふれあいを広げていく大切な『場』であり、『時間』であると思っております。そしてこれからも、もっともっと大きな人の『輪』につながっていけるように期待をし、大切にしていきたいと思っています。

檜の木作業所 下村 成人

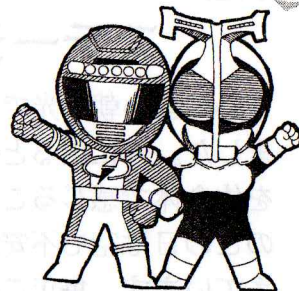


▲ 仮面ライダーらの特撮ヒーローショーは、たくさんの観客を魅了していました

第7回かしの木フェスティバルありがとう



☆ 第7回かしの木フェスティバル収支報告は、次回47号
2007年1月1日にて掲載予定です。



～第7回かしの木フェスティバルにご協賛して いただきました方々～

青山歯科医院	ミートショップまつなが	浅井商店	服部食品
小信金箴(資)	ミートブティック末広	松永商店	伊藤歯科
七里建設	FASHION HOUSE トミダ	菊屋米穀店	石川空調
琥珀観光	オールビジネスセンター	大野設備工業	丸光商店
鈴木クリニック	星月保険センター	ナゴヤフード(株)	魯 DAN
(有)橋本住設	MONKEY BAR	(株)マルエム商会	近藤米穀店
(有)イワコシ	八百大商店/三条店	ツバメプロパン	花のモウリ
味よし販売	一宮電話興業(株)	クリーンにしわき	大野屋
浅野新聞店	(株)ジーケーエス	栗田仏壇店	(株)大藤
(株)大東社	(有)マツモト園芸	タナカ商店	渡辺石油
喫茶 倭	若松園/起店	中村理容店	小崎義忠
博覧堂	早善織物(株)	八百重商店	中島道博
福寿亭	白木屋米穀店	春日井豆腐	伊藤しおり
一宮青果(株)	エムズフード	カワシマ空調	村上雅子
尾西信用金庫			(順不同・敬称略)

上記のご協賛業者の皆様他、ご来賓の皆様、ボランティアの皆様、ステージ出演団体の皆様、バザー出店施設等の皆様、物品を提供して下さった皆様、テント等資材の無償貸与をして下さった団体の皆様、電気の配線設備をして下さった皆様、会場付近の草取りや掃除などをして下さった皆様、フリーマーケット参加の皆様、広報活動にご協力を下さった皆様等、献身的なご支援とご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。本誌を借りまして厚く御礼を申し上げます。

かしの木

～地域の人々に支えられ、地域の人々と共に～

かしの木の会 事務局	〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel 0586-63-2111
	かしの木の里内	Fax 0586-61-1200
榎の木福祉会 ☆榎の木作業所	一宮市富田字漆畑 16 番地	Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514
☆榎の木園	一宮市富田字若宮 17 番地	Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253
☆かしの木の里	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200
☆ピュアハウス	一宮市明地字上平 35 番地	の1 Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241